

# パワーオプティマイザ産業用

P650 / P730 / P801 / P850 / P800H / P950

パワーオプティマイザ



## モジュールレベルでの太陽電池出力最適化 産業用および大規模サイト用設置に、最も経済性の高いソリューション

- ソーラーエッジパワーコンディショナと連携する特別設計
- 優れた効率 (99.5%)
- ボルト一本で設置が迅速
- インストーラーおよび消防士の安全を確保するモジュールレベルの電圧シャットダウン
- 最大25%の出力増
- システムのバランスを考えたコストの低減：ケーブル、ヒューズや接続箱を半減
- モジュールレベルモニタリングによる次世代型メンテナンス
- 太陽光パネル2枚接続使用

# パワーオプティマイザ産業用

P650 / P730

パワーオプティマイザ (標準的な対応モジュール)	P650 (60セルモジュール 2枚付け)	P730 (72セルモジュール 2枚付け)	
<b>入力</b>			
定格直流入力電力 <sup>(1)</sup>	650	730	W
接続方法	1対の入力(モジュールを直列接続)		
絶対最大入力電圧 (最低温度で Voc)	96	125	Vdc
MPPT動作範囲	12.5 - 80	12.5 - 105	Vdc
入力あたりの最大短絡電流(Isc)	11		Adc
最大効率	99.5		%
実質効率	98.6		%
過電圧カテゴリー	II		
<b>稼働時出力 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナに接続されたパワーオプティマイザ)</b>			
最大出力電流	15		Adc
最大出力電圧	85		Vdc
<b>非稼働時出力電圧 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナから切断またはソーラーエッジ製パワーコンディショナのオフ時)</b>			
パワーオプティマイザごとの 安全出力電圧	1 ± 0.1		Vdc
<b>適合規格</b>			
EMC	FCC Part15 Class B, IEC61000-6-2, IEC61000-6-3		
安全性	IEC62109-1 (クラスIIの安全性)		
RoHS	適合		
火災安全性	VDE-AR-E 2100-712:2013-05		
<b>設置条件</b>			
ソーラーエッジ製パワーコンディショナ	単相パワーコンディショナ、三相パワーコンディショナ		
最大許容システム電圧	1000		Vdc
寸法 (幅×長さ×高さ)	129 x 153 x 42.5	129 x 153 x 49.5	mm
重量 (ケーブルを含む)	834	933	gr
入力コネクタ	MC4 <sup>(2)</sup>		
入力ワイヤー長	0.16	0.16, 0.9 <sup>(3)</sup>	m
出力コネクタ	MC4		
出力ワイヤー長	1.8	2.2	m
動作温度範囲 <sup>(4)</sup>	-40 - +85		°C
耐環境性能	IP68 / NEMA6P		
相対湿度	0 - 100		%

(1) STC での定格出力がオプティマイザの“定格直流入力電力”を超えないこと。モジュールの +5% までの出力公差を許容。

(2) 他のコネクタタイプについてはソーラーエッジにお問い合わせ願います。

(3) 分離ジャンクションボックスを有するモジュールとの接続用に、P730には90 cm (P730-xxxLxxx)の長い入力ワイヤーのバージョンもご用意しています。

(4) 周囲温度+70°C以上では、出力抑制がかかります。詳細は、「[Power Optimizers Temperature De-Rating Application Note](#)」を参照。

# パワーオプティマイザ産業用

P800H / P801 / P850 / P950

パワーオプティマイザ (標準的な対応モジュール)	P800H (96セルモジュール2枚付け)	P801 (72セルモジュール 2枚付け)	P850 (高出力、両面受光 モジュール2枚付け)	P950 (高出力、両面受光 モジュール2枚付け)	
<b>入力</b>					
定格直流入力電力 <sup>(1)</sup>	800	800	850	950	W
接続方法	2対の入力(モジュールをそれぞれ接続)		1対の入力(モジュールを直列接続)		
絶対最大入力電圧 (最低温度で Voc)	83	125			Vdc
MPPT動作範囲	12.5 - 83		12.5 - 105		
入力あたりの最大短絡電流(Isc)	7	11	12.5		Adc
最大効率	99.5				%
実質効率	98.6				%
過電圧カテゴリー	II				
<b>稼働時出力 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナに接続されたパワーオプティマイザ)</b>					
最大出力電流	18	15	18	17	Adc
最大出力電圧	85				Vdc
<b>非稼働時出力電圧 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナから切断またはソーラーエッジ製パワーコンディショナのオフ時)</b>					
パワーオプティマイザごとの安全出力電圧	1 ± 0.1				Vdc
<b>適合規格</b>					
EMC	FCC Part15 Class B, IEC61000-6-2, IEC61000-6-3				
安全性	IEC62109-1 (クラスIIの安全性)				
RoHS	適合				
火災安全性	VDE-AR-E 2100-712:2013-05				
<b>設置条件</b>					
ソーラーエッジ製パワーコンディショナ	単相パワーコンディショナ、三相パワーコンディショナ			三相パワーコンディショナ	
最大許容システム電圧	1000				Vdc
寸法 (幅×長さ×高さ)	129 x 168 x 59	129 x 153 x 49.5	129 x 162 x 59		mm
重量 (ケーブルを含む)	1064	933	1064		gr
入力コネクタ	MC4 <sup>(2)</sup>				
入力ワイヤー長	0.16	0.16, 0.9	0.16, 0.9, 1.3, 1.6 <sup>(3)</sup>	0.16, 1.3, 1.6	m
出力コネクタ	MC4				
出力ワイヤー長	1.8	2.2			m
動作温度範囲 <sup>(4)</sup>	-40 - +85				°C
耐環境性能	IP68 / NEMA6P				
相対湿度	0 - 100				%

(1) STC での定格出力がオプティマイザの“定格直流入力電力”を超えないこと。モジュールの +5% までの出力公差を許容。

(2) 他のコネクタタイプについてはソーラーエッジにお問い合わせ。

(3) 分離ジャンクションボックスを有するモジュールとの接続用に、P801/P850には90 cm(P801/P850-xxxLxxx)、P850/P950には130cm(P850/P950-xxxXxxx)、160cm(P950/P850-xxxYxxx)の長い入力ワイヤーのバージョンもございます。

(4) 周囲温度+70°C以上では、出力抑制がかかります。詳細は、「[Power Optimizers Temperature De-Rating Application Note](#)」を参照。

ソーラーエッジパワーコンディショナを使用した PVシステム設計 <sup>(5)(6)(7)</sup>	単相 HD-Wave <sup>(10)</sup> SE5500H-JP/ SE5500H-JPJ	三相 SE25K-JP/ SE50K-JP			三相 SE33.3K-JP/ SE100K-JP			
パワーオプティマイザ	P650,P730,P801,P850,P800H	P650,P730, P801	P800H, P850	P950	P650,P730,P801,	P800H,P850	P950	
最少ストリング長	パワーオプティマイザ	7	13		14			
	PVモジュール	13	25		27			
最大ストリング長	パワーオプティマイザ	25	30					
	PVモジュール	50	60					
ストリング毎の最大電力	8250	10050 <sup>(8)</sup>	12060 <sup>(8)</sup>	11390 <sup>(8)</sup>	12750 <sup>(9)</sup>	15300 <sup>(9)</sup>	14450 <sup>(9)</sup>	W
異なるストリング長と構成での入力接続	可							

(5) P650, P730 と P801 は同一ストリング内で混在して使用することが可能です。また、P800H と P850 を同一ストリング内で混在して使用することも可能です。P950 は他オプティマイザと同一ストリングに混在して使用することは出来ません。また、P650-P950 は P300-P505 と同一ストリングで使用することは出来ません。

(6) 奇数枚の PV モジュールを 1 ストリングに接続する場合、パワーオプティマイザ P650/P730/P800H/P801/P850/P950 それぞれ一台に 1 枚のモジュールを接続することで可能となります。P800H にモジュールを 1 枚接続する場合は、使用していないコネクタを支給されたベアのシールで封をしてください。

(7) 三相パワーコンディショナの最小 DC 容量 (モジュール定格の合計) は 11kW です。

(8) SE25K-JP: P650/P730/P801 を使用の場合ストリング直流最大電力 12,500W まで可能です。P800H/P850 の場合は 14,310W、また P950 の場合 14,890W まで可能です。ただし、各ストリング間の電力差が 2,000W 以下の場合に限ります。

(9) SE33.3K-JP: P650/P730/P801 を使用の場合ストリング直流最大電力 15,000W まで可能です。P800H/P850 の場合は 17,550W、また P950 の場合 17,950W まで可能です。ただし、各ストリング間の電力差が 2,000W 以下の場合に限ります。

(10) 産業用パワーオプティマイザは単相パワーコンディショナ SE5500H-JPJ 2 台以上のシステムもしくは三相パワーコンディショナのみでご使用になれます。